

猫と私と尾道と

情報システム部

新木 亜紗美

SHINKI ASAMI

先日、コロナ禍以降、久々の遠出で島根と広島へ旅行に訪れた。島根の出雲大社、広島の厳島神社、広島護国神社をお参りし、旅の主目的は達成したので後は消化試合…なんて失礼な心持ちで旅行最終日に広島の尾道を訪れたわけだが、名立たる神社寺院に負けず劣らずの魅惑のパワースポットであった旨を伝えたい。

尾道の市街地は、平坦な道が少なく、急勾配な坂道と階段が続く路地、古い寺社と民家が混在するレトロな街並み、尾道水道としまなみ海道の風光明媚な風景で知られている。

尾道の名所である千光寺のお参りを済ませた道すがら、「猫の細道」なるスポットへ。

芸術家の園山春二氏の企画の1つで、丸石に猫を描いた『福猫石』（現在、尾道各所に1000匹以上すんでいるそう）や、階段のひび割れを猫

に見立てた階段猫アートなど、細道のいたるところに散りばめられた環境アートが見どころの一つ。細道沿いの廃屋は看板猫が居る古民家カフェや招き猫美術館などに再生を続けており、また、地域猫の保護活動など、猫を中心としたサステナブルな取り組みがなされている。猫好きさんでもそうでなくても、ノスタルジックで不思議なパワー溢れる尾道を是非お勧めしたい。



編集後記

新年度を迎えまして、JWセンターでは、引き続き電子マニフェスト事業、教育研修事業等において、利便性を確保し安定的な事業運営を目指してまいります。

本号から1年「コラム」は、高俊興業(株)代表取締役の高橋様にご執筆いただきます。

2022年度から始まりました「産廃鼎談」は今回で第9回の掲載となります。廃棄物処理法案に深く関与された横田様(静岡県立大学名誉教授)をお迎えしまして、当時の様子や廃棄物の定義の過程など大変貴重なお話をさせていただきました。

「産廃クロズアップ」では、(株)西日本アチューマツクリーンの複合型処理施設『E・フォレスト岡山』取材させていただきました。

最終処分場の必要性について理解を得るためにはどうか、全国様々な処分場を視察し行きついたのは安全性に配慮した「クロズ方式」だったと語られた藏本社長。地域社会との共生への強い思いを感じました。

電子マニフェストの「ユーザー事例紹介」では、ANAホールディング(株)のグループ全体での電子マニフェストの利用についてご寄稿いただきました。同グループは環境への取組として機内食などの食品類の廃棄率の削減等を推進しています。

最後に、ご多忙の中ご執筆いただきました皆様、記事作成、取材に当たってご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。(広報室)

■本誌に関する連絡先：総務部広報室 (e-mail:jigyoy@jwnet.or.jp)

<アンケートへのご協力のおお願い>

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ(以下のURL)に掲載しています。

本誌に関するご意見、ご要望を是非、お聞かせください。

URL https://www.jwnet.or.jp/info/kikansi/kikansi_anq/index.html

JWセンター情報(季刊) VOL.24 NO.1

発行日：2024年4月15日発行 発行人：関莊一郎

発行所：公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒110-0005 東京都台東区上野三丁目24番6号
上野フロンティアタワー 13階

TEL: 03-5807-5911 FAX: 03-5807-5912

<https://www.jwnet.or.jp/>

デザイン・印刷：株式会社太陽美術